

## インターバンクの声（2014年9月25日）

昨日の海外市場は、月曜日に発表された8月の米中古住宅販売件数が5カ月ぶりの減少となったことから、昨日発表の8月の米新築住宅販売件数も同じように悪化するのではないかと危惧もあった。結果は1992年1月以来となる大幅な増加となったことで、やや回復気味だったドル相場をさらに支えることになった。新築住宅販売の他にもう一つ気になっていたのが、東京時間に安倍首相から発せられた最近の円安を気にするような発言に対する欧米時間での反応だった。一部のトレーダーは、東京時間の最中から108円前半や108円を割れて直ぐのストライクを購入したりしていたようだ。結果的には事無きを得た格好になっているが、今度は逆に109円中盤でのストップが気になるかも知れない。米、英、仏などシリア領内のイスラム国拠点への空爆に参加した国々とイスラム国との対立もあり、地政学リスクも燦っている以上、簡単にドル買い方向ばかりにポジションを傾けるわけにもいかないはずで、一定のレンジを想定したリスク回避を考えながらの相場展開が続きそうだ。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。